



# 放虎原小だより

令和6年8月27日

No.8

文責 校長 福永琢也

## おもいやり ゆめ げんき

### ☆2学期のスタート

長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。元気に登校し、友達とあいさつを交わし、楽しそうに談笑する子どもたちの姿に私たちも新しい学期のスタートに心を新たにしたところです。

2学期は、各学年行事が予定されており、学習内容もたくさんです。そんな学期だからこそ、新たな心持ち、新たなめあてをもち、新たな自分を創り上げて欲しいと思います。そして充実した2学期を過ごして欲しいと思います。私たちも子どもたちのがんばりをしっかりと支えていく2学期にしていきたいと思います。保護者の皆様にも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

### ☆始業式より

#### 【始業式の講話より】要約版

秋は、「実りの秋」といって、多くの果物が実ったりと豊かな季節。学校でも2学期は、10月にある運動会をはじめ、各学年で色々な行事がある。それぞれがんばってたくさんの実をつけてほしい。

さて、2学期の始まりに、7月から先生が気になっていたことを話す。それは「あいさつ」。みなさんの挨拶が何か元気がないなと思って気になっていた。前にある会社の社長さんから聞いた話。「あいさつは人と話すときの始まりとなるもの。だから、これができないと商売も始まらない。同じ会社の人と働くときにも話の始まりはあいさつになる。お客さんにもものを買ってもらうときにもはじまりはあいさつになる。だからあいさつは絶対に必要なもの」。また、こんな話も聞いたことがある。あいさつは「くせ」みたいなもので、子どものときから、人に会ったらあいさつをする、あいさつをされたらあいさつを返すということをしていないと、その「くせ」が身に付かない。

先生は交差点に立ってあいさつをしている。元気な声で挨拶する人、小さな声で挨拶する人、おじぎをしてくれる人、名前を呼んでくれる人といろいろなあいさつがある。元気のいいあいさつをする子は、いいことがあったのかな、小さな声の子には、心配事があるのかなとあいさつの様子でみなさんの様子を想像する。逆に言うともあいさつで相手が自分のことをどう思うか決まることにもなる。せっかくのあいさつ、相手にいい印象を与えるあいさつをしよう。

#### 【2学期がんばりたいこと】 3年2組 いの上 日き

ぼくが2学期がんばりたいことは二つあります。一つ目は、理科で育てている植物の世話です。3年2組では、日直が水やりを毎朝やるという決まりがあります。もし忘れてら、午後やらないといけません。ぼくは、日直のとき、水やりを忘れることがありました。だから、2学期はせつたいに水やりをわすれないようにします。そして、日直じゃないときも、畑に行つて植物の観察をしたいです。二つ目は「教える」ということについてです。一学期は、しゃべっている人がいたり、ふざけている人がいたりしたときにぼくは、ちゅういをするが多かったです。そのとき、声が大きくなってしまふことがありました。2学期は、大きい声を出さずに、ちゅういじゃなくて、何をするのか友だちにやさしく教えていきたいです。

#### 【2学期がんばりたいこと】 5年1組 森 煌晴

ぼくが2学期でがんばりたいことは二つあります。一つ目はあいさつをすることです。ぼくは、なれていない人には緊張して。あいさつがあまりできません。だから2学期は会う人全員に小さな声でもあいさつをすることを目標にがんばりたいと思います。あいさつをするとはじめはきんちょうする気持ちもありますが、だんだん挨拶をしている側の自分も心がすっきりとします。また、高学年としてみんなにまねしてもらえようになりたいです。二つ目は、五年生の漢字を覚えることです。ぼくは、一学期の漢字のテストでは、百点を取ることができませんでした。だから2学期の漢字のテストでは百点を取れるように漢字ノートに書いて、覚えられるように一文字、一文字ていねいに書きます。また、コツコツと漢字ドリルなどで自分で小テストをやってみようと思います。漢字のテストで百点を取って、みんなに漢字を教えることができるように覚えます。2学期は一番長い学期で運動会などの行事もあります。自分の目標に向かってがんばり成長していきたいです。